



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校
学校便り No.22
令和7年 2月 7日
文責：校長 齋藤和彦

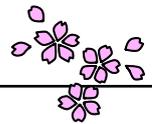
「新入学児童保護者説明会」 ～校長あいさつ～

薫小学校は、こんな学校です。～こんな6年生が育つ学校です。(先生も育ちます)

- ◇ 薫小ホームページに、『かおるの1ねんせいの1にち』を写真付でアップしました。どうぞ、お子さんと一緒にご家族でご覧になって、「なんだか..薫小学校って、いいな」「入学式が楽しみだなあ～」～こんな入学前の2か月を過ごしていただけたらうれしく思います。

◆◆ 校長室より ～4/20 夕方の職員室から～ ◆◆

学校だより【R5.4.24 薫小だよりNo.3】より



4月20日(木) 夕方..学校に電話が入りました。「子どもが遊びに行ったまま、まだ家に帰ってきません。」..ただならぬ教頭先生の電話対応の雰囲気、退勤時刻をだいぶ過ぎて職員室で仕事していた先生方は、電話対応の言葉に耳を傾けました。事態を確認後、すぐに教頭先生は、一緒に遊んでいた友だちの家庭へ電話確認。私が、「先生方..学校周辺を探しに..」話途中で、職員室から一人残らず先生方の姿が消えました。(速かった!) 玄関に向かいながら「私たちは黄色コースを..」「じゃあ、反対側に行くから..」～ベテランの先生の状況把握と迅速な行動、そして、的確な動きの分担が瞬時になされる様(初任の先生方まで先輩を追って出ていきました。先輩の後ろ姿から実践的に学ぶ:また、それを行動で教える・魅せる先輩)に、感謝・感心・感服..尊敬の念を抱いたことを忘れません。先生方が校門を出たか..という頃、「帰ってきました」との電話が入りました。私は、呼び戻しに走りましたが..もう出勤後でした(速!)
とにかく、子どもが無事でよかったです。「ご苦労さまでした。ありがとうございました。」(翌日の職員会議で、このことを全職員に周知しました。*薫小職員を誇りに感じます。)

◆◆ 校長室より ～1年生のがんばりと6年生に..あっぱれ!～ ◆◆

学校だより【R6.4.19 薫小だよりNo.3】より



入学式翌日の1年生初登校は、試練の雨風でした。きっと初めて自分の手で傘を支え..風の方向と戦いながら..自分の足で歩いて登校してきた、小さな1年生の姿に“拍手!100点満点!”
また、この子の姿を玄関先で見送ってくださった..保護者さんにも“あっぱれ!120点!”
きっと、心の内は心配で心配で..わが子の姿が見えなくなる曲り角まで、ずっと背伸びして見送ってくれたことと思います。(そして、子どもの力を信じて我慢..)「わかります。その気持ち。」
～ユダヤの諺に こんな教えがあります～
『魚一匹与えれば 一日 もつ
魚の捕り方を教えれば 一生 もつ』
学校もこのような力を養う教育をめざします。多少の苦手や困難にも負けずに、自分の力で(ときに仲間と協力して)生きていくための力です。

風雨の厳しかったこの日の朝。昇降口では、6年生ががんばった1年生を待っていました。傘の始末をやさしく教え(クルクル..パッチンして傘立てへ)。教室ではランドセルや学習用具の整理の仕方をていねいに教えています。～でも、“何でもかんでも..チャホヤ”ではありません。
...何か持ってくる物を忘れた子に、6年生は先生に代わりに言ってあげるなんてことはしませんでした。
担任のところに連れて行って、『〇〇持ってくるのを忘れたから明日もってきます』隣で一緒に先生に言えるかどうか聞き届けていたのです。～やさしくもあり..その子の今後を強くしてあげるふるまい(6年生の判断)に、あっぱれ!です。*こんなふうにしてほしい..私の思いとピッタリでした。
きっと、6年生の先生方から“お手伝い範囲基準”共通の線引きがあったことと思われまます。
☆さすがです! ☆6年生の先生方の教え! ☆そして、6年生の行動判断! お見事です!!
6年生の皆さんも、5年前には、こうしてお兄さんお姉さんに手伝ってもらったのでしょ。きっと、この1年生も6年生になったら同じように..そして「自分の力でがんばってみて!」と、やさしく励まし..見届けていることでしょう。～いいなあ..薫の子は。(薫の先生も)